

## 1 はじめに

上浮穴支部では、支部内全ての小・中学校にタブレット端末が整備されている。また、学習支援ソフトウェアも充実しており、これらを使って授業改善を図っていくために何ができるのか、どのように活用していくのかをテーマに実践研究に取り組んでいる。

## 2 実践事例

### (1) 「ロイロノート」の活用①（直瀬小学校の取組）

直瀬小学校では、5年生の総合的な学習の時間における防災学習で、毎時間学んだことや考えたことを「ロイロノート」に記録した。単元の最後には、今までの記録を元に発表資料を作成し、プレゼン発表を行った。見ている人に分かりやすい発表になるように、スライドの文字の大きさや写真の選定等、児童自身が工夫して作成することができた。

「ロイロノート」は、毎時間の学習をノートに記入することでデータを蓄積できる上、それらを使って簡単に発表資料を作成できるため、どの児童も自分の力で発表資料を作成することができた。



【学習発表会でのプレゼン発表】

### (2) 「ロイロノート」の活用②（久万小学校の取組）

久万小学校では、6年生の児童が「ロイロノート」を活用して『都道府県クイズ』を作成した。作成したクイズは、4年生児童に配付し、授業や自習で使用した。都道府県の形や特産品をヒントにしたクイズは、とても好評で、楽しく47都道府県を覚えることができた。「ロイロノート」では、児童が作成した資料を簡単に共有できるため、学年を越えて学習での交流に使い、「〇年生に伝えよう」というような目的意識も生まれ、意欲も高めることにつながった。



【都道府県クイズのスライド】

### (3) 「eライブラリ」の活用（直瀬小学校の取組）

直瀬小学校では、授業の導入において、前時の復習として「eライブラリ」の練習問題を活用した。授業の導入で、前時の復習をしてから学習に取り組むことで、スムーズに授業に参加できた。また、タブレットにおける学習は、児童の学習意欲も高めるため授業の導入で活用するのは大変効果的だった。

## 3 成果と課題

本支部は小規模校が多く、タブレット端末が一人1台使えるとともに「ロイロノート」や「eライブラリ」等の学習支援ソフトウェアも充実し、恵まれた環境を生かした取組や研究推進ができています。今後は、タブレット端末を持ち帰らせての学習活動も活発化させたい。「eライブラリ」を使って教師から課題を出したり、「Gmail」を使って保護者・児童と連絡を取り合ったりといった活動を実践している学校もある。本支部の全小中学校でそのような活動が実施できるよう情報共有に努め、取組を広げていきたい。